

8月1日(土) プログラム

教育講演 1

10:00~10:30

知っておきたい DOHaD に関する用語解説 ~DOHaD 研究を理解する時の土台となる知識~

座長：板橋家頭夫(昭和大学医学部小児科学講座)

演者：久保田健夫(山梨大学・大学院総合研究部・環境遺伝医学講座)

教育講演 2

10:30~11:10

環境要因によるエピゲノム変化とその遺伝

座長：野原 恵子((独) 国立環境研究所 環境健康研究センター)

演者：石井 俊輔(理化学研究所石井分子遺伝学研究室)

教育講演 3

11:10~11:50

生活習慣病とエピジェネティクス

座長：目時 弘仁(東北大学東北メディカル・メガバンク機構 地域医療支援部門 周産期医学分野)

演者：藤田 敏郎(東京大学先端科学技術研究センター、
東京大学医学部 22 世紀医療センター画像診断学講座)

ランチョンセミナー

12:00~13:00

SGA 児の成長に関する Population-based 研究

座長：堀川 玲子(国立成育医療研究センター 内分泌代謝科)

演者：森岡 一郎(神戸大学大学院医学研究科内科系講座 小児科学分野 こども急性疾患学部門)
共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

我が国の出生コホート研究の現状と課題

座長：森 臨太郎(国立成育医療研究センター 政策科学研究部)

佐田 文宏(東京医科歯科大学 難治疾患研究所)

基調講演 我が国における出生コホート研究の意義、現状、そして今後

森 臨太郎 (国立成育医療研究センター 政策科学研究部)

- 1 **環境化学物質の胎児期暴露と DOHaD 研究の関係：環境と子どもの健康に関する北海道スタディ (The Hokkaido Study on Environment and Children's Health)**
岸 玲子 (北海道大学環境健康科学研究教育センター)
- 2 **東北メディカル・メガバンク計画 三世代コホート調査の概要とその目指すもの**
栗山 進一 (東北大学災害科学国際研究所/同東北メディカル・メガバンク機構)
- 3 **エコチル調査のめざすもの**
新田 裕史 (国立研究開発法人国立環境研究所)
- 4 **浜松母と子の出生コホート研究 (HBC Study) からみた乳幼児の神経発達とその軌跡**
土屋 賢治 (浜松医科大学子どものこころの発達研究センター)
- 5 **出生前三世代コホート研究**
堀川 玲子 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター内分泌代謝科)

座長：宇田川 潤(滋賀医科大学 解剖学講座 生体機能形態学部門)

伊東 宏晃(浜松医科大学医学部附属病院 周産母子センター)

基調講演 至適名称を求めて—DOHaD—研究の推進に—

福岡 秀興 (早稲田大学理工学術院)

- 1 **ネーミングが持つ力**
中西 和代 (初めてのたまごクラブ 編集長)
- 2 **次世代の健康を守る出産・成育インフラにふさわしい名は？**
西沢 邦浩 (日経 BP 社 日経ヘルス、日経 BP ヒット総合研究所)
- 3 **全てを網羅する DOHaD の日本語名称はあるか？**
中野 有也 (昭和大学医学部小児科学講座)
- 4 **DOHaD 日本語名称に関する提案～周産期を目前にした若年層の意見から～**
原馬 明子 (麻布大学 生命・環境科学部)

8月2日(日) プログラム

学術集会長講演

10:00~10:30

早産低出生体重児と non-communicable diseases

座長：秦 健一郎(国立成育医療研究センター 周産期病態研究部)

演者：板橋家頭夫(昭和大学医学部小児科学講座)

教育講演 4

10:30~11:10

エピジェネティクスと現代人の体質学

座長：秦 健一郎(国立成育医療研究センター 周産期病態研究部)

演者：中尾 光善(熊本大学 発生医学研究所 細胞医学分野)

ポスターセッション 2

11:10~12:00

教育講演 5

13:30~14:10

父加齢が次世代の行動に与える影響に関する分子メカニズム： 自閉症発症機序の理解に向けて

座長：小出 馨子(昭和大学医学部産婦人科学講座)

演者：大隅 典子(東北大学大学院医学系研究科)

DOHaD の科学的基盤確立シンポジウム

14:20~16:50

“DOHaD” は仮説なのか？現在わかっていること・わかっていないこと

座長：佐藤 憲子(東京医科歯科大学大学院 疾患生命科学研究所・生命情報科学教育部
難治疾患研究所 ゲノム応用医学研究部門 分子疫学分野)

杉山 隆(東北大学医学部 産科婦人科学教室)

- 1 DOHaD の科学的基盤形成に必要な研究
久保田健夫(山梨大学・大学院総合研究部・環境遺伝医学講座)
- 2 産科の視点より DOHaD に学ぶこととその限界
伊東 宏晃(浜松医科大学医学部附属病院 周産母子センター)
- 3 小児科医の視点で考える DOHaD 研究の展望と限界
中野 有也(昭和大学医学部小児科学講座)
- 4 メタボリック・シンドロームと胎児期・乳幼児期との関連
宮本 恵宏(国立循環器病研究センター 予防医学・疫学情報部)
- 5 DOHaD・疫学研究領域の未来
目時 弘仁(東北大学 東北メディカル・メガバンク機構
地域医療支援部門 周産期医学分野)

8月1日(土) ポスターインデックス

ポスターセッション 1

15:30~16:20

- P-01 自閉症死後脳縫線核メチル化状態の網羅的解析
松崎 秀夫 (福井大学・子どものこころの発達研究センター)
- P-02 低栄養暴露直後の神経幹細胞の遺伝発現変化と生後の行動異常
日野 広大 (滋賀医大解剖学講座)
- P-03 出生季節が18ヶ月児の行動発達に与える影響：HBC Study
浅野 良輔 (浜松医科大学子どもこころの発達研究センター)
- P-04 出生コホート研究における追跡中断とその防止：HBC Study
中原 竜治 (浜松医科大学子どもこころの発達研究センター)
- P-05 幼児期における神経発達軌跡と危険因子の同定：HBC Study
西村 倫子 (浜松医科大学子どもこころの発達研究センター/
子どもの発達科学研究所)
- P-06 前コミュニケーションスキルの発達とその背景因：HBC Study
原田 妙子 (浜松医科大学子どもこころの発達研究センター)
- P-07 統合失調症脆弱性形成における
不飽和脂肪酸欠乏によるエピジェネティック修飾の関与
前川 素子 (国立研究開発法人理化学研究所)
- P-08 極低出生体重児における予定日までの頭囲拡大と脳容積との関係
小林 梢 (昭和大学医学部小児科学講座)
- P-09 Differences in intestinal microbiota of infants between vaginal delivery and C-section, in particular alpha-toxigenic and enterotoxigenic *Clostridium perfringens*
Ravinder Nagpal (Probiotics Research Laboratory, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan)
- P-10 Features of intestinal microbiota of young adults born by C-section
Ravinder Nagpal (Probiotics Research Laboratory, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan)
- P-11 中国農村地域における子どもの栄養状況の介入研究
蓋 若琰 (国立成育医療研究センター政策科学研究部/
中国山東大学公衆衛生学院)
- P-12 妊娠中の摂取カロリー制限母ラットからの低出生体重ラットとその仔でみられる血中コルチコステロン濃度上昇の解析
根本 崇宏 (日本医科大学生理学 (生体統御学))
- P-13 マウス周産期における多価不飽和脂肪酸の重要性
原馬 明子 (麻布大学 生命・環境科学部)

- P-14 **胎児の生活習慣病の素因形成に対するアミノ酸インバランスの影響**
西谷しのぶ（味の素株式会社 イノベーション研究所
フロンティア研究所 栄養健康基盤研究グループ）
- P-15 **妊娠ラットとその胎仔のトリプトファン代謝
～子宮内胎児発育不全（IUGR）の影響～**
佐野 光枝（滋賀県大・生活栄養）
- P-16 **胎生期低栄養マウスモデルにおける心重量・心機能の検討**
有馬勇一郎（熊本大学医学部 循環器内科）
- P-17 **妊娠期の葉酸過剰摂取が胎児・新生児の細胞増殖能に及ぼす影響**
金高 有里（十文字学園女子大学食物栄養学科）
- P-18 **マウス胎生期低葉酸投与がX染色体不活性化因子に及ぼす影響**
熊本 隆之（奥羽大学薬学部衛生化学研究室）
- P-19 **胎生期から乳仔期におけるマウス Fibroblast Growth Factor 21（FGF21）
遺伝子発現のエピゲノム制御**
橋本 貢士（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科メタボ先制医療講座）
- P-20 **初期胚における後世的ゲノム修飾を指標とした DOHaD 仮説検証系確立の試み**
大塚 哲（理化学研究所・多能性幹細胞研究チーム）
- P-21 **腎発生における Prorenin, (Pro) Renin receptor の関与についての検討**
寺田 知正（徳島大学大学院医歯薬学研究部小児科学）
- P-22 **極低出生体重児の小児期における腎機能評価**
金子 孝之（新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター）
- P-23 **高濃度酸素負荷新生仔ラットにおける網膜症と腎障害の関連**
仲川 真由（順天堂大学医学部小児科）
- P-24 **早産児における尿中アンジオテンシノーゲンの臨床的意義の検討**
鈴江 真史（徳島大学病院 小児科）
- P-25 **出生時低体重の小児における腎生検所見の特徴**
小池健太郎（東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科）

8月2日(日) ポスターインデックス

ポスターセッション2

11:10~12:00

- P-26 環境化学物質によるドーパミン神経疾患モデルラットにおける DOHaD 仮説の検証
石堂 正美 (国立環境研究所・環境リスク研究センター)
- P-27 胎児期ビスフェノール A 曝露影響に関する臍帯血 DNA 網羅的メチル化解析
—北海道スタディ
小林 祥子 (北海道大学 環境健康科学研究教育センター)
- P-28 Diesel engine exhaust origin secondary organic aerosol affects olfactory-based spatial learning performance and related gene expressions in preweaning mice
Tin-Tin Win-Shwe (National Institute for Environmental Studies, Tsukuba, Japan)
- P-29 ヘルスプロフェッショナル教育過程における DOHaD 説の理解度と DOHaD 説に関連した教育内容の分析
小山田正人 (藤女子大学人間生活学研究科食物栄養学専攻)
- P-30 演題取り下げ
- P-31 使用済み新生児マススクリーニング濾紙血を用いた ゲノム・エピゲノム解析の有効性の検討 (その 1)
Tay Zar Kyaw (東京医科歯科大学難治研 環境エピゲノム/分子疫学)
- P-32 日本人における出生時体重と筋力との関係における年齢差
青山 友子 (医薬・健栄研 国立健康・栄養研究所)
- P-33 母体免疫亢進時におけるインターロイキン 6 の母胎間移行動態
島田ひろき (金沢医科大学医学部解剖学 I)
- P-34 日本人妊婦におけるつわりの程度と栄養摂取量の関連性評価
村上 里香 (株式会社明治 研究本部 食機能科学研究所)
- P-35 幼少期の野菜・果物摂取に関連する胎児期・乳児期の要因
大久保公美 (国立保健医療科学院)
- P-36 マウス低栄養モデルを用いた Developmental Origins of Health and Disease (DOHaD) 責任遺伝子の検索
小川 哲郎 (埼玉医科大学生理学)
- P-37 新規母体低栄養モデルマウス作出の試み
古瀬 民生 (理研 BRC 日本マウスクリニック)
- P-38 早産児の予定日までの成長と血清脂質および体脂肪分布の関係
豊田 純也 (昭和大学医学部小児科学講座)
- P-39 視床下部室傍核特異的 DNMT3a 欠損マウスにおける肥満の発症機序
河野 大輔 (群馬大学 先端科学研究指導者育成ユニット)

- P-40 胎生期低栄養マウスモデルにおける摂食過多による肥満発症の検討
深見 達弥 (飯塚病院産婦人科/UCLA)
- P-41 胎児・新生児発育と胎盤肥満関連遺伝子発現解析
谷口 公介 (国立研究開発法人 国立成育医療研究センター・研究所・
周産期病態研究部)
- P-42 2つの出生後早期肥満モデルマウスにおける糖代謝制御の相違について
細田 洋司 (国立循環器病研究センター研究所・再生医療部)
- P-43 胎児期の低栄養による膵臓およびインスリン標的組織の変化
藤井 貴子 (静岡県立大学大学院 薬食生命科学総合学府 食品栄養科学専攻)
- P-44 乳児期の低栄養により誘導される糖代謝能の変化に対する魚油の効果
都築 毅 (東北大学大学院農学研究科)
- P-45 低栄養ストレスによる発達期の2型糖尿病発症メカニズム
～転写因子 FOXO1 を介した異所性脂肪細胞分化～
針谷 夏代 (山梨大学 医学部 環境遺伝医学講座/
静岡県立大学 食品栄養科学部 栄養生理学研究室)